

# 原点は長崎大自治会

憲法改正運動を進める「日本会議」。来春で誕生から満20年を迎えるこの運動団体は、改憲の国民投票に向けた準備を着々と進めている。政権中枢にまで影響力を持つようになった日本会議の源流をたどった。



「日本の誇り」通信。題字の下に「部外秘」と記されたB5判6頁の「会報」がある。日本会議の実務を担う日本協議会・日本青年協議会（日青協）が、9月30日に発行した。

を深く思うこと。私たちは一変した新たな世界にいる」

その1、2次に、7月10日の参院選での与党勝利を受け、日本会議事務総長で日本協議会会長の椎島有三氏（71）が同30日に実務者会議であいさつした内容が詳細に掲載されている。

## 「神業」に感謝

「参院選で憲法改正に必要な3分の2が獲得された。大事なことは7月10日に世の中が変わったこと

改憲勢力の中心にいる。その日は、憲法改正の環境づくりとして、一昨年から始めた「1千万賛同者拡大運動」、地方議会で憲法改正を求める意見書採択といった運動にもふれた。日本会議によると、主導

する「美しい日本の憲法をつくる国民の会」の賛同者署名は7月末現在、全国で約754万人。今年度中に達成を目指すという。

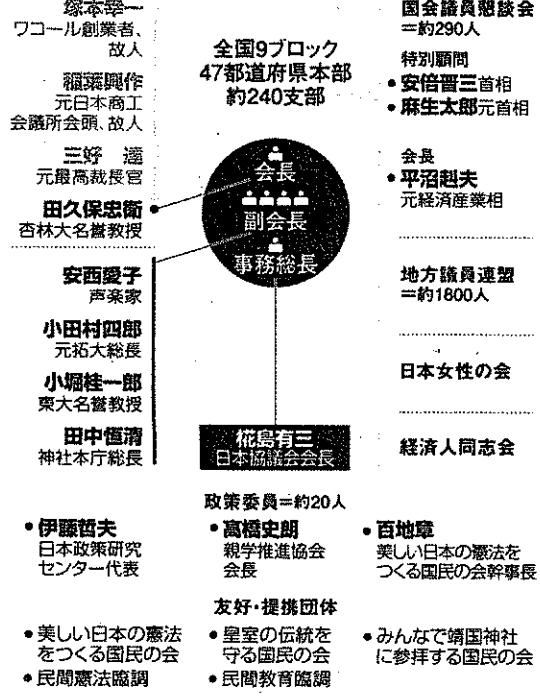
あるのだらう。日本協議会・日本青年協議会は運動史の中で、66年に「長崎大で学生有志が左翼過激派学生と対峙し、学園正常化運動に立ち上がった」と記している。新宗教「生長の家」信者

だった椎島氏は65年に長崎大に入学。翌年、学園正常化を求めるピラを配っている最中、左翼学生らに袋たたきにされ、「全学連打倒」を決意したという。そこで、彼らがとった手段は選挙による学生自治会掌握だった。

影響を受け、行動を起こしたのが、大分大の衛藤巖一・首相補佐官(69)、静岡大・京大の百地章・元日大教授(70)、新潟大の伊藤哲夫氏(69)、早大の高橋史朗氏(66)らだった。そして、いま、彼らが日本会議の支柱として安倍政権を支えている。(藤生明)

## 日本会議ってこんな組織

「日本を守る国民会議」と「日本を守る会」が1997年に統合して発足



## 全国に波及

機関紙「生学連新聞」によると、椎島氏は364対293で、国立大初とされる右派による自治会掌握を果たした。さらに、原理研究会(旧

統一教会の学生組織)など長崎大学学生協議会(長大協議)を結成。ノウハウはすぐに全国に広がった。

またさまざまな分野で提言する日本会議の動向が注目されています。近く朝日新聞デジタルで、源流から現在までを追った連載「日本会議をたどって」を始めます。